

## 非鉄金属業界 ～世界の非鉄大国、構造問題解決と安定成長を目指す～

### ◆市場動向 ～需給バランスが改善、改革の成果も表れ業績は回復基調～

#### 16年の業界規模（前年値修正済み）：

10種非鉄金属生産量：5283万トン（前年比3%増）、非鉄金属の貿易総額（米ドル換算）：1171億米ドル（同10%減）、業界売上高：6兆元（同6%増）、税引き前利益：2430億元（同35%増）

中国は非鉄金属の生産、消費量ともに世界最大の規模。16年は好調な住宅市場や公共投資の拡大を支えに、国内需要は概ね堅調だった。他方、官民挙げた構造改革の成果が徐々に表れ、生産量の伸び率は3%台に抑えた。また、非鉄金属の輸入額は約1割減少。これにより国内の需給バランスが改善すると、長期低迷が続いていた金属価格は年後半から持ち直し、業界全体の収益環境は改善がみられた。金融緩和で投資マネーが商品先物市場に流入したこと、価格上昇の一因になった。

17年に入ると非鉄各社の増産意欲が高まり、上期の10種非鉄金属の生産量は前年同期比で7%増加。ただ、国内の景気回復により金属需要は引き続き増加し、金属価格の上昇が続いた。こうした追い風を支えに、業界全体では同17%増収、51%増益と、一段と収益回復の傾向が鮮明になった。一方で構造改革は道半ばといえ、生産能力や高い債務比率の引き下げは引き続き重要課題に。構造改革の推進と金属市況の回復を両立できるか、市場の注目度は高い。

### ◆業界の特徴 ～商品市況が業績を左右、構造問題を抱える～

#### 生産・販売面：

非鉄金属業界は国内外の商品市況の影響を大きく受けるセクター。川上の探査・採掘・選鉱、川中の精錬、川下の製品加工に分けられ、最終的に建設、電力設備、家電、自動車など幅広い業界に販売されるため、需要は設備投資、個人消費などの影響を受ける。また希少金属、特に金は投資商品にも位置づけられ、金融政策の影響を受けやすい。資源の多くは中西部に分布。精錬・加工の過程では大量のエネルギーを消費するため、環境対策も必要になるほか、電力・石炭など燃料価格の動向もコストに直結する。集約度は比較的低く、生産設備の「過剰、小規模、老朽化」という構造的な問題を抱える。

#### 国際面：

中国はベースメタルから希少金属に至るまで、埋蔵・生産量は世界有数の規模。このため資源・加工品の輸出大国だが、レアアースを典型例に大きな通商問題に発展しやすい。国産鉱石の品位の問題や膨大な需要を背景に鉱石の輸入依存度は高く、非鉄金属の貿易は輸入超が続く。16年の赤字額は371億米ドルに縮小し、輸入依存度がやや低下した。世界の金属市場に与える影響は非常に大きい。この中で資源確保や製品技術・ノウハウの獲得をめざし、中国企業による海外M&Aが活発化している。

#### 政策面：

国内の非鉄金属資源は国有であり、企業は採掘・使用権を有償で取得する。政府は過剰気味な生産能力の整備、生産の割当制、業界再編、製品の高付加価値化、海外進出などの構造改革を進めている。

### ◆主要企業、主な取扱銘柄 ～国有大手が主役、金属価格の回復が追い風に～

非鉄業界の川上・川中では大手の大半が国有企業であり、金属ごとに有力企業が存在。それぞれが上場企業を持つ。もっとも国内全体でみると大手のシェアは限られ、業界の集約度は低い。国内の金属価格は16年に底入れから回復に向かい、各大手は16.12期、17.6期（中間）で業績改善が進んだ。なかでもリーディング企業であるアルミ最大手の中国アルミ（02600）は業界再編やリストラ策が奏功し、利益率が大きく回復。民営の中国宏橋（01378）、地方政府系の南山アルミ（600219）や雲南リヨ業（000807）

の事業規模も大きい。さらに最終製品のアルミ形材は民営の中国忠旺控股（01333）が最大手に位置する。アルミに並ぶ主要金属の銅をみると、地方政府系の江西銅業（00358）と銅陵有色（000630）の両大手が業界首位を争い、これを中国アルミの兄弟会社でもある雲南銅業（000878）、國務院直轄の中国大冶有色金属（00661）、青海省政府系の西部礦業（601168）などが追う。中国大冶有色金属を除く大手は銅価格の上昇を支えに、好業績を記録した。また、製品加工に特化する銅管民営大手の浙江海亮（002230）は製品構成の改善で二桁の増収益となつた。ほかのベースメタルをみると、亜鉛・鉛は地方政府系の雲南馳宏（600497）と中金嶺南（000060）が国内有数のシェアを占め、錫は雲南錫業（000960）が世界最大の生産量を誇る。

また、国際金属価格も上昇。これを追い風に世界最大級の金属商社「グレンコア」（00805）、國務院系企業の傘下で海外展開に強みを持つ中信資源控股（01205）が黒字に転換。一方、五礦資源（01208）は減損損失が響いて2年連続の赤字になった。

**貴金属の代表格である金は中国が世界最大の生産・消費国。16年の国内生産量は4%増の535トンに達したもの、消費量は前年比7%減の975トンに後退。国内外の金相場は大きく揺れ動いた。**この中で国有金鉱大手の業績は概ね回復し、中金ゴールド（600489）や山東ゴールド（600547）、紫金礦業（02899）、招金礦業（01818）などはいずれも増収増益となつた。

**さらにレアメタル大手の業績も回復傾向が続いた。**二次電池需要の拡大でリチウム市況が上向き、国内最大手の天齊リヤ（002466）への追い風に。モリブデン最大手の洛陽欒川（03993）は巨額の海外M&Aで高成長が続いた。一方、レアアース最大手の北方稀土（600111）は価格低迷の長期化で16年も業績を落としたが、17年は需給改善により、中間期で大幅増益となる見通しだ。

### 主な取扱銘柄：

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
00358	江西銅業	H株	元	201,728 +8.9	841 +21.9	67,221	江西省政府系の国内最大級の銅生産会社。複数の大型銅山を有し、生産量は世界でも有数。金、銀、モリブデンなども生産し、銅に加えて貴金属・レアメタルの価格動向の影響を受けやすい。主要製品の販売価格上昇により、17.6期（中間）も大幅増益となる見通し。
00661	中国大冶 有色金属	レッドチップ	元	38,916 ▲1.1	▲163 赤字	2,326	國務院直轄の非鉄大手「中国有色礦業集団」の傘下企業。本拠に置く湖北省の地元政府も大株主。主力製品は銅地金で、金や銀などの貴金属、硫酸などの化学製品、鉄精鉱なども生産。保有鉱山は同省大冶市の「銅綠山礦」など。国内市況の回復にもかかわらず、業績低迷は長期化。
00805	グレンコア	香港その他	米ドル	152,948 ▲10.3	1,379 黒転	531,886	スイスに本拠を置く世界有数の総合商社。グローバルに事業展開し、金属資源に強く、亜鉛・銅の取引量は世界有数。鉱山権益も有する。同業のエクストラータとの統合で規模が一段と拡大した。ここ数年は金属安の影響で業績低迷が続いたが、16.12期、17.6期（中間）で黒字転換に成功。
01205	中信資源 控股	レッドチップ	香港ドル	2,957 ▲20.4	363 黒転	7,308	國務院直轄の企業集団「中国中信」（00267）で、資源事業を担当。豪州産のアルミニウム鉱石や中間製品を輸入するなど、海外事業の比重が大きい。中信大モウ（01091）を通じ、中国最大級のマンガン鉱山、精錬・販売会社を経営。市況回復により、17年上期で業績改善が進んだ。
01208	五礦資源	レッドチップ	米ドル	2,489 +27.6	▲153 赤字	30,768	金属貿易の国内最大手で國務院直轄の中国五礦集団が親会社。傘下の豪資源会社「MMG」は海外鉱山開発を主力とし、亜鉛の生産量は世界有数。巨額買収した世界最大級の銅山（ラオバンバス銅山）を中核とする海外事業は苦戦続きだったが、16年から軌道に乗り出したことが好材料だ。
01333	中国忠旺 控股	香港その他	元	16,696 +3.2	2,871 +2.4	21,035	遼寧省を本拠とする民営の大手アルミ形材メーカー。主力製品は鉄道車両、自動車、航空機などに使用される工業用、アルミサッシやカーテン・ウォール（CW）などの建築用に分かれる。輸出にも積極的だが、主力の米国向けで貿易摩擦のリスクが付きまとつ。
01818	招金礦業	H株	元	6,665 +13.2	353 +14.7	22,931	山東省に本拠を置く地方政府系の金鉱会社。国内最大規模の地下金鉱脈を有し、採掘・精錬・加工・販売を手がける。主要製品の延べ棒は知名度が高い。売上高の大半を金が占めるため、金相場の影響を特に受けやすい。ロシア産金大手への出資計画など、今後の海外展開が注目材料だ。
02068	中リヨ国 際工程	H株	元	24,766 +27.3	1,144 +111.5	6,019	国内最大の非鉄メーカー「中国リヨ業公司」の傘下企業。中国アルミ（02600）とは兄弟会社の関係。グループ内で非鉄プラントの建設や鉱山採掘設備の製造・販売、貿易などを担当。インフラ建設やPPP（官民パートナーシップ）、海外展開など、非鉄以外の収益源の拡大を進める。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
02600	中国アルミ	H株	元	144,066 +16.7	402 +170.8	123,659	国務院系の大型非鉄メーカー。アルミの生産などで国内最大、世界でも上位に入る。親会社は資源メジャーの一角を占めるリオ・ティント社に出資する。業界再編とリストラなどにより業績は回復基調。中国石油天然気(00857)と戦略提携し、製品開発の強化による競争力向上を目指す。
02899	紫金礦業	H株	元	78,851 +6.1	1,840 +11.1	103,727	福建省を地盤とする地元政府系の金鉱大手。主力の金に加え、銅、亜鉛など幅広く金属を生産。国内最大級の露天掘り金鉱など、複数の鉱山を保有する。海外投資にも積極的で、コンゴ民主共和国にあるアフリカ最大級の銅鉱山開発に注力。17年6月の増資で開発資金を確保した。
03993	洛陽欒川	H株	元	6,950 +65.6	998 +31.1	178,180	河南省の政府系企業で、中国屈指のモリブデン企業。タンクステンでも埋蔵量は世界有数の規模を誇る。総額40億米ドルを投じてブラジルでの二オブ・リン酸塩の事業資産、コンゴ民主共和国の銅・コバルト鉱山を買収。巨額の海外M&Aを経て、これらの分野での世界シェア拡大に成功。
000060	中金嶺南	深センA株	元	15,086 ▲11.1	323 +60.9	33,903	広東省政府系の非鉄大手。主力製品の鉛、亜鉛は国内有数のシェアを持ち、採掘から製錬、製品加工までを手がける。さらに銅・アルミ製品やカーテンウォール、電池材料などを生産。非鉄金属の貿易事業も手がける。雲南銅業(000878)の出資を受け入れ、全面提携の関係を構築。
000630	銅陵有色	深センA株	元	86,674 ▲0.3	180 黒転	37,373	安徽省政府系の銅生産大手。江西銅業と国内2大銅メーカーを形成する。銅鉱石は同省内外の自社銅山や外部調達で貿易し、精錬、製品加工までを一貫して展開。金などの副産物も販売し、華東地区での売上が大半を占める。販売価格の上昇を支えに17.6期(中間)は好業績の見通し。
000878	雲南銅業	深センA株	元	59,195 +4.5	203 +683.8	24,382	雲南省を本拠に全国展開する国内3位の銅生産会社。内モンゴルの赤峰銅山は主力鉱山の一つ。銅製品や副産物の貴金属は上海、北京、深センなどの大都市や雲南省内で主に販売。国有非鉄最大手「中国リヨ業公司」の傘下にあり、アルミ最大手の中国アルミ(02600)は同社の兄弟会社。
000960	雲南錫業	深センA株	元	33,429 +7.6	136 黒転	27,886	中国を代表する雲南省政府系の錫生産企業。生産・販売量は05年から世界トップを走り、国内でも約5割のシェアを占める。豊富な錫資源を有し、採掘・精錬・加工までを一貫し展開。また、錫地金・錫製品の中国最大の貿易商であり、輸出高も国内首位に立つ。
002203	浙江海亮	深センA株	元	18,000 +32.2	551 +20.7	16,678	浙江省の民営コングロマリット「海亮集團」の上場旗艦企業。銅製品の国内大手で、主力製品である銅管の輸出は国内有数の規模を誇る。浙江省を含む国内各地やタイ、ベトナムに生産拠点を設置。ハイエンド製品の開発に注力し、製品は原発、航空機、船舶、海洋工程などに用いられる。
002466	天齊り業	深センA株	元	3,905 +109.1	1,512 +510.0	83,704	リチウム生産の国内首位、世界3位の民営企業。14年は世界シェアで16%を占めた。リチウム鉱物から炭酸リチウムを生産し、二次電池や耐熱ガラス添加剤の原材料として出荷。リチウム鉱物の産出で世界最大手の豪タリソソ社を傘下に置く。エコカー普及による電池需要拡大が追い風。
600111	北方稀土	上海A株	元	5,113 ▲21.9	91 ▲72.1	73,894	内モンゴル自治区政府傘下のレアアース最大手。同自治区包頭市の白雲鄂博は世界最大のレアアース鉱山として有名。鉱石・製品の一部は海外にも広く輸出する。シェア拡大に向け、甘肃省の同業大手を買収。鉄鋼メーカーの包鋼銅聯(600010)とは兄弟会社の関係にある。
600489	中金ゴールド	上海A株	元	38,928 +5.0	362 +319.5	43,639	中国政府系の金生産最大手「中国黄金集團公司」の中核企業。中国黄金国际(02099)とは兄弟会社の関係にある。採掘から製錬・製品加工までを一貫して展開。ブランド力や製品設計力に定評があり、豊富な埋蔵量が強み。売上の大半を金製品が占めており、金相場に左右されやすい。
600497	雲南馳宏	上海A株	元	14,104 ▲22.1	▲1,653 赤字	38,906	地元政府系の総合非鉄大手「雲南冶金集團」の旗艦上場企業。主力の亜鉛・鉛は国内有数のシェアを誇る。採掘・精錬・加工から非鉄製品の国内貿易までの一貫体制を構築。主に建築・自動車・電池業界などに販売。アルミ分野を担当する雲南リヨ業(000807)とは兄弟会社の関係。
600547	山東ゴールド	上海A株	元	50,199 +28.9	1,293 +100.1	69,492	金産地で有名な山東省に本拠を置く地元政府系の金鉱会社。地元鉱山から金を採掘し、生産した金地金は上海黄金交易所を通じ販売される。大規模な再編を経て金埋蔵量が300トン近くに拡大し、将来の成長基盤を整備。今後もさらなる買収や資産証券化などを進める。
601168	西部礦業	上海A株	元	27,776 +3.8	100 +228.6	24,608	青海省の直接管理下にある非鉄大手。銅、鉛、亜鉛、鉄などのベースメタルや金・銀など貴金属の採掘・精錬・貿易などを展開。青海省を含む中国西部に複数の鉱山を保有する。青海省の豊富なリチウム資源に注目し、親会社から炭酸リチウム事業会社の買収を進めている。

※売上高・純利益などはすべてブルームバーグ提供の数値であり、当社HPと異なる場合がある。すべて16年12月本決算、単位は百万。

※時価総額は17年9月7日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HKドル。換算レートは1元=1.12HKドル。

## ◆注目されるトピックス ～構造改革や業界再編、商品市況の動向に注目～

### サプライサイド改革は継続、高付加価値化が重要に：

政府は新5力年計画（16～20年）を設定し、非鉄業界のサプライサイド改革をさらに徹底する構えだ。

改革の核心は生産量の抑制と設備・製品の高度化、負債削減、環境保護などであり、政府は非鉄10種の消費見通しを年平均4%増に設定。環境対策が遅れた設備の停止・淘汰と最新設備の導入を強化することで需給バランスを保ち、さらに製品加工分野へ重点投資していく。これにより、自動車・航空機などの軽量化、各種IT製品・二次電池の中核材料など成長性が高いハイエンド分野について、加工技術の引き上げによる国産比率の向上を目指す。非鉄大手は製品の高付加価値化が成長戦略の柱となろう。

### 業界再編による大手のシェア向上に期待：

成長戦略のもう一つの柱は業界再編、M&Aとなる。特に国有大手を中心とした混合所有制改革（民間資本の導入）や全体上場、地域を跨いだ買収・合併などは今後も重要な投資テーマとなろう。非鉄業界は元々集約度が低いだけに、再編による大手のシェア向上に期待。一方でここ数年の積極的な海外M&Aも17年に入ると一服し、今後は巨額の海外投資の収益化とリスク管理が重要に。洛陽欒川や五礮資源、紫金礮業、中信資源控股などは海外事業の比率が高く、各社の経営手腕が試される。

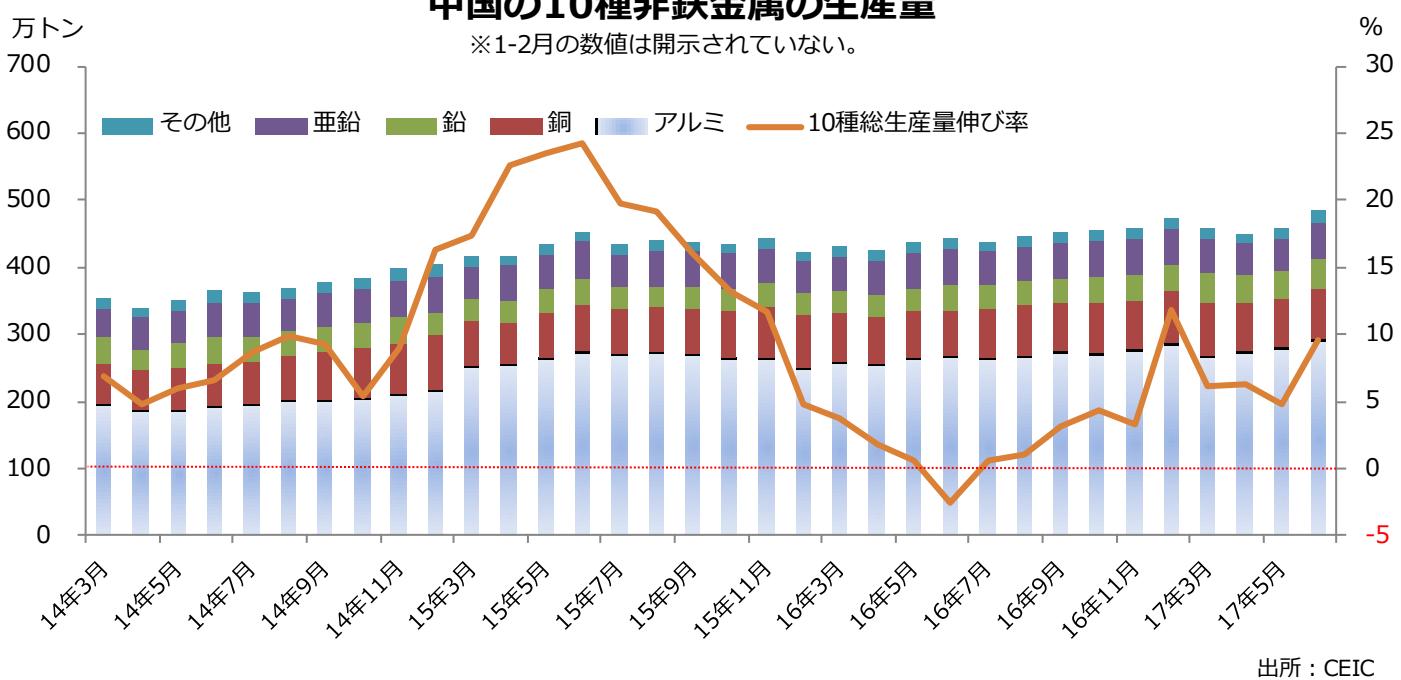
### 金属相場の動向には常に注意：

各社の経営や株価は金属価格の影響を受けやすく、国内外の商品先物取引所での金属価格は重要 факторだ。中国には上海、大連、鄭州の三大取引所があり、世界上位の取引規模を誇る。もっとも投資マネーの流出入により実需と乖離した乱高下がみられるなど、不安定な側面も。海外ではLME（ロンドン商品取引所）やCOMEX（ニューヨーク商品取引所）などが有名。金、銅、アルミなどの国際相場は中国の需要に加え、原油相場、海外投資家のリスク許容度、米国の金融政策など、多方面から影響を受ける。

（中国部 畦田）

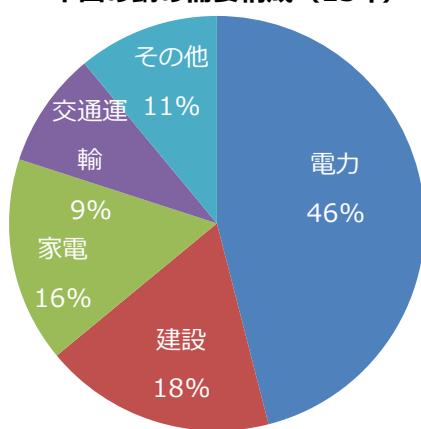
### 中国の10種非鉄金属の生産量

※1-2月の数値は開示されていない。

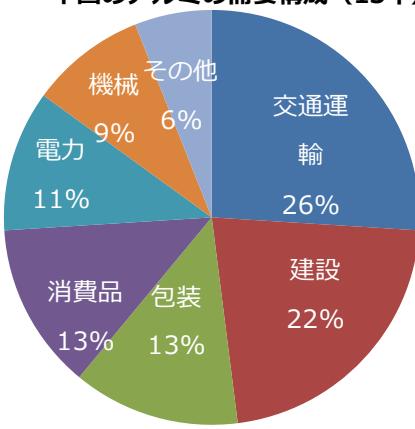


出所：CEIC

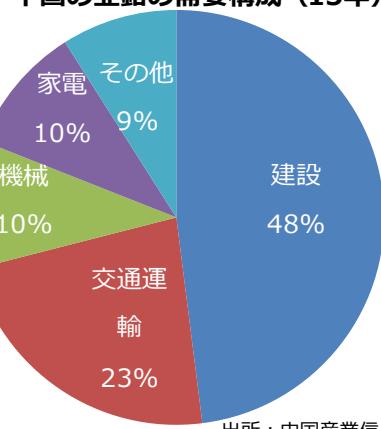
中国の銅の需要構成（15年）



中国のアルミの需要構成（15年）

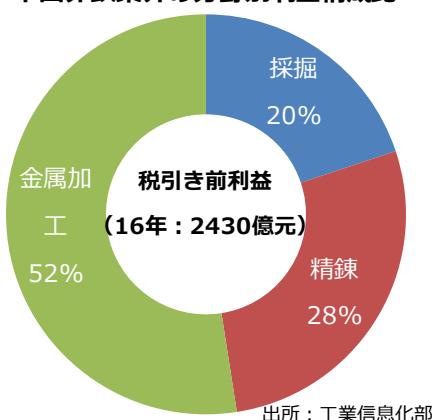


中国の亜鉛の需要構成（15年）



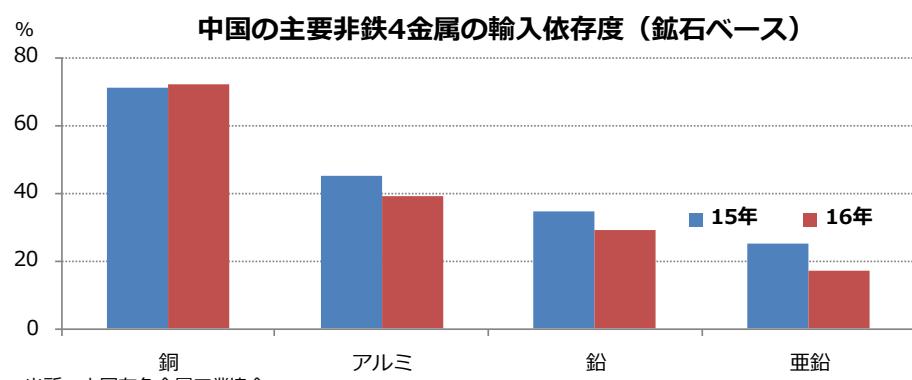
出所：中国産業情報網

中国非鉄業界の分野別利益構成比



出所：工業信息化部

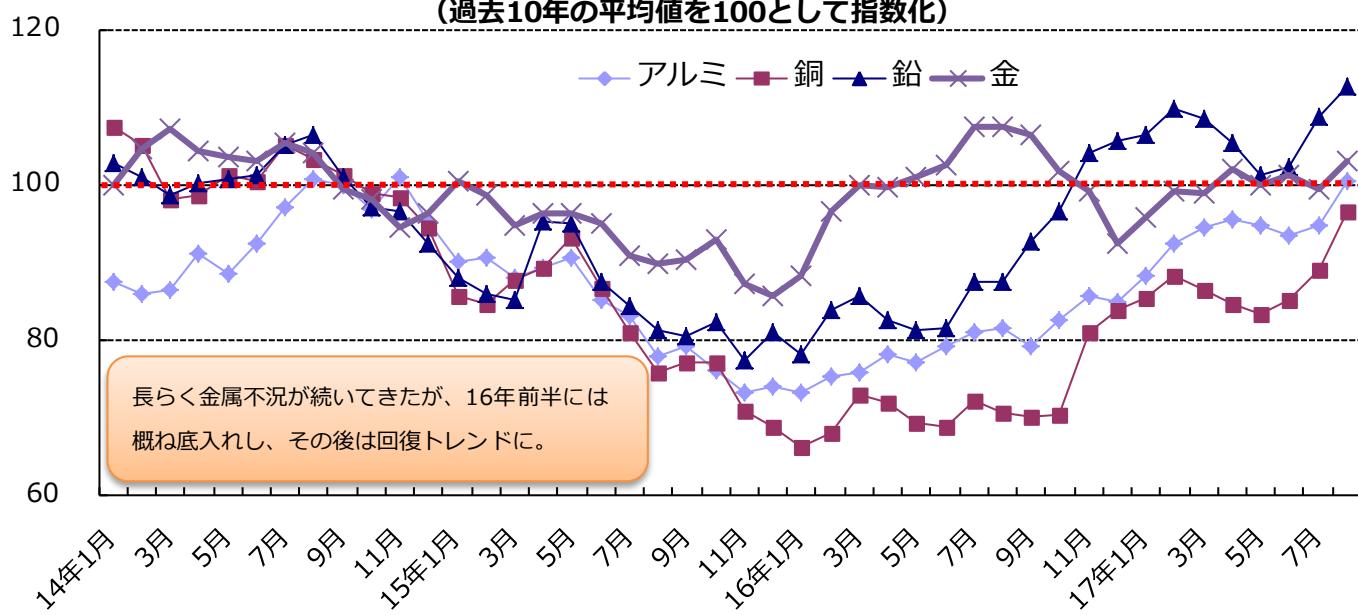
中国の主要非鉄4金属の輸入依存度（鉱石ベース）



出所：中国有色金属工业协会

主要4金属の国際先物価格の推移

（過去10年の平均値を100として指数化）



出所：ブルームバーグ

## 中国の非鉄金属企業の売上高上位50社（16年度）を一部抜粋

順位	社名	16年売上高 (億元)	増収率 (%)	備考
1	中国リヨ業公司	2,676	12	傘下に中国アルミ（02600）、中リヨ国際工程（02068）など
2	江西銅業集団	2,105	6	江西銅業（00358）が主力子会社
3	金川集団	1,931	-12	国有資源大手。ニッケルのシェアは国内トップ、傘下に金川集団国際（02362）など
4	海亮集団	1,503	7	民営の大型企業集団。主力事業の一つが銅管生産で、国内最大手。傘下に浙江海亮（002203）
5	銅陵有色金属集団	1,496	3	銅産地として有名な安徽省銅陵市の国有企業、傘下に銅陵有色（000630）
6	中国有色礦業集団	1,410	-18	傘下に中国大冶有色金属（00661）、有色金属建設（000758）など
7	五礦有色金属集団	1,264	14	非鉄金属貿易の最大手、傘下に五礦地産（00230）、五礦資源（01208）、五礦発展【売付のみ】（600058）など
8	陝西有色金属控股	1,241	7	省政府系の企業。傘下に金堆城モリブデン（601958）
9	南山集団	936	14	山東省の地元政府系企業、傘下に南山アルミ（600219）など
10	紫金礦業（02899）	789	6	福建省の金鉱大手
11	白銀有色集団	559	2	中国白銀集団（00815）が主力子会社
12	雲南錫業集団	472	13	錫の生産で中国最大手、雲南省の国有企業で雲南錫業（000960）、貴研プラチナ（600459）を傘下に置く
13	国家電力投資集団	465	-10	中国の5大発電集団の一角、傘下にアルミ部門を抱える
14	寧波金田投資集団	450	6	浙江省の民営企業で、銅リサイクル製品の国内大手
15	山東祥光集団	448	12	山東省に本拠を置く民営の非鉄大手、銅生産・加工を主力とする
16	四川宏大集団	402	-1	鉛・亜鉛の大手、傘下に四川宏達（600331）がある
17	東營魯方金属材料有限公司	371	25	上記企業の傘下で16年に設立、陰極銅を主力製品とする
18	西部礦業集団	356	8	傘下に西部礦業（601168）を置く
19	雲南冶金集団	349	-13	雲南省政府系の金属大手、傘下に雲南馳宏（600497）
20	東營方円有色金属有限公司	322	7	山東省の民営企業。銅生産を得意としている。

※売上高は業界団体の発表値であり、上場企業の発表値と必ずしも一致しない。出所：中国有色金属工業協会

## 当社の概要

商号等 内藤証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号  
 本店所在地 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号 主な事業 金融商品取引業  
 資本金 30億248万円(平成29年3月末現在) 設立年月 昭和18年4月  
 加入協会 日本証券業協会  
 指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター  
 連絡先 ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

## リスク等重要事項のご説明

## リスクについて

〈株式〉株価および為替相場(特に外国株式の場合)の変動等により損失が生じるおそれがあります。

〈債券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。

〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向(特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合)等により投資元本を割り込むおそれがあります。

〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る(元本超過損)おそれがあります(オプション買方の場合は買付代金とコストの合計額に限定されます)。

## 手数料について

〈株式〉①対面取引の場合、i)国内株式は約定代金に対して最大1.15%(税抜き以下同じ、但し最低2,500円)。ii)現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50%、香港株式で同0.25%(最低50香港ドル)、上海・深セン株式で同0.50%必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii)国内店頭(相対)取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社為替レートを用います。②コールセンター取引の場合、i)国内株式は約定代金に応じて最大31,000円(最低2,500円)。ただ、月間取引回数等による割引きあり。ii)外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i)国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP(<http://www.naito-sec.co.jp/>)にてご確認ください。ii)現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引では米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。

〈債券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。

〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧下さい。

〈株価指数先物・同オプション〉i) 株価指数先物は約定代金に対して最大0.08%。ii) 株価指数オプションは約定代金の最大4.0%(但し最低2,500円)。

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があり、過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重過失がない限り、責任を負いません。

◆本資料により提供される情報の著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の書面による同意なく、本資料の内容及び情報を、複製、譲渡、修正、変更または転送等の行為をすることができません。

本社 大阪市中央区高麗橋1-5-9 ☎ 06-6229-6511

## 東日本地区

東京第一営業部	☎ 03-3666-5541	金沢文庫支店	☎ 045-780-5021
東京第二営業部	☎ 03-3666-7137	足利支店	☎ 0284-22-1234
神田支店	☎ 03-6361-9191	伊勢崎支店	☎ 0270-25-3780
三鷹支店	☎ 0422-71-1251	伊勢崎駅前サテライト	☎ 0270-25-3780
		焼津支店	☎ 054-621-1311

## 西日本地区

本店営業部	☎ 06-6229-6904	和歌山支店	☎ 073-423-6211
住道支店	☎ 072-889-5236	有田支店	☎ 0737-52-7110
寝屋川支店	☎ 072-822-6333	田辺支店	☎ 0739-22-4678
金剛支店	☎ 072-365-1901	新宮支店	☎ 0735-22-8151
権原支店	☎ 0744-28-4711	高松支店	☎ 087-822-0105

## インターネット

☎ 0120-7110-76  
 succe-s@naito-sec.co.jp

## コールセンター

☎ 0120-20-9680

